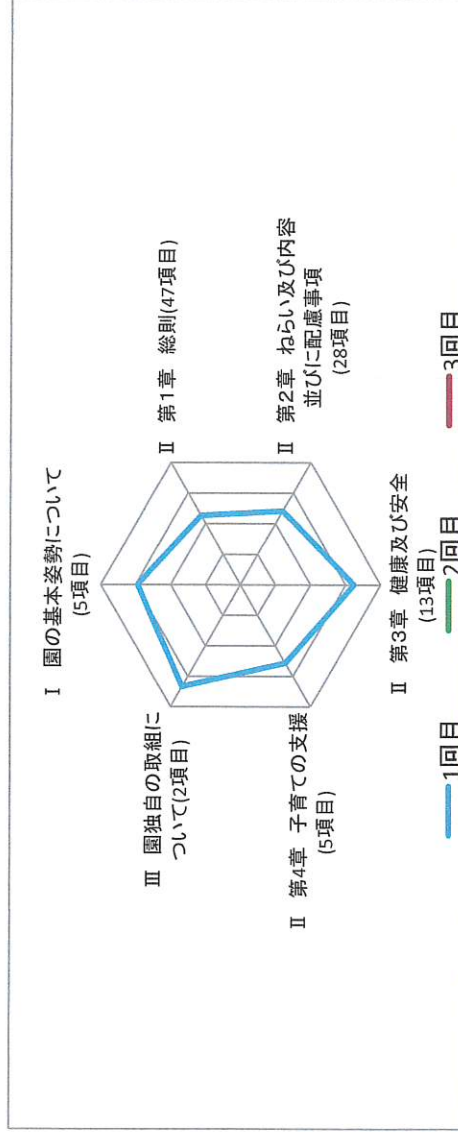


＜評価方法＞
 十分理解できている(十分できている)…◎3点 理解している(できている)…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×0点

集計結果（チェック3回分）

評価	18 人																			
	1回目						2回目						3回目							
回答人数 入力してください	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢について(5項目)	16	43	25	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
II 第1章 総則(47項目)	78	279	361	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項(28項目)	58	172	212	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3章 健康及び安全(13項目)	27	110	153	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第4章 子育ての支援(5項目)	9	38	36	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 園独自の取組について(2項目)	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

レーダー



令和3年度 施設の自己評価

第一章 総則・・・

- ・幼保連携型認定こども園における教育及び保育の基本及び目標の内容の確認をし、こども園において「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』10項目について、職員会議や研修等で周知していく。
- ・地域の方を招待し、こども園の取り組みや、子ども達の姿をその都度知らせていく。

第二章 ねらい及び内容並びに配慮事項・・・

- ・乳児期は、『健やかに伸び伸びと育つ』『身近な人と気持ちが通じ合う』『身近なものに関わり感性が育つ』という3つの視点や、幼児期は『健康・人間関係・環境・言葉・表現』の5領域をおさえながら、年齢の発達特徴をふまえ、計画をたてていく。
- ・職員会議で、各クラスの月案の確認、クラスごと、または一人ひとりの課題を出し合い、園全体で確認し合っていく。
- ・みなみこども園としての『食育・体育・木育・智育』の4つの柱についても、各年齢にそった内容となっているか、保育の確認をしていく。

第三章 健康及び安全・・・

- ・園児一人ひとりの心身の状態を観察し、職員同士が連絡し合い、発育及び発達状況も把握していく。(未満児は月案に反映していく)
感染症対策や事故防止の確認を充分行い、研修や会議、回覧等で園全体で努めていく。
- ・朝の視診をクラスでしっかり行う。ヒヤリハット・保育室からの声は、回覧し、職員全体で問題共有していく。(改善に向けて話し合う)
食育では、クッキング・栽培を通して『食べることは生きること』に繋げた保育を進めていく。
- ・避難訓練を通して、スムーズに安心して園児が避難できるよう毎月行い、日頃から外での食事・ご飯炊きなどの経験を積みながら職員も災害発生時の対応、避難時の心構えを園全体で周知していく。

第四章 子育ての支援・・・

- ・子どもの育ちと家庭を連携して支援していくとともに、連絡帳の確認や行事・参観等の感想など保護者の声に耳を傾け、保護者との信頼関係を築き、相互理解に努めていく。
- ・保護者からの思いや意見が出た時は、速やかに園長に連絡する。
園全体で、『報告・連絡・相談・確認』に心掛けていく。
- ・市町村の支援を得て、地域の関係機関との連携をし、子育て支援に積極的に取り組むよう努め、面談などでも育ちの情報を家庭と共有していく。